

平成24年度 ライフプランセミナー開催

人生の節目となる退職。これからの自分に何が必要か！一緒に考えてみませんか。



お問い合わせ
一般社団法人 島根県労働者福祉協議会
ライフプランセミナー係
TEL / 0852-23-3302 FAX / 0852-23-3303
E-mail / rofuku@gaea.ocn.ne.jp

受講者募集 (参加費 1,000円)

当日入場整理券が必要です。
以下の申込み用紙をご提出ください。後日、お送りします。

●開催月日・会場・申込み締切日

松江会場	2012	時間:10:00~14:45
	11/4(日)	場所:労働会館203号室 申込締切:10/26(金)
浜田会場	2012	時間:10:00~14:45
	11/18(日)	場所:ろうきん浜田支店 申込締切:11/9(金)

- 主催 一般社団法人 島根県労働者福祉協議会
- 共催 中国労働金庫島根県営業本部・全労済島根県本部 各地区労働者福祉協議会
- 後援 島根県・島根県商工会議所連合会・島根県商工会連合会 島根県中小企業団体中央会・(社)島根県経営者協会 山陰中央新報社・山陰中央テレビ・(財)島根県東部勤労者共済会 (財)島根県西部勤労者共済会・島根県社会福祉協議会

●セミナーの目的

右肩上がりの時代が終焉し、公的年金への不安、税金や社会保険料の負担増が見込まれる中、収入の継続的な上昇が期待しづらい時代へと移り変わり、将来に対する不安は高まっています。このセミナーでは、このように人生トータルの収入に限られる中で充実した生活を送るためには、10年20年先までのライフプランをしっかりと立て、そのライフプランを実現するために、支出をコントロールしていくことがとても重要になっていることから、それぞれ個々のライフステージについての生活設計や在職中・退職後の生活を総合的に考えて行く機会を提供するものです。

●プログラム

10:00~	受付
10:15~	開講式
10:30~	セミナー1 「定年準備の生活設計と定年退職の基礎知識」 <内容> 定年準備・退職手続き等の基礎知識に関する講座 【講師】 社会保険労務士 菅野 美和子 [90分]
12:00~	昼食(各自)・休憩
13:00~	セミナー2 「いきいきと心豊かな人生を送るために」 <内容> 退職後の人生の楽しみ方に関する講座 【講師】 社会福祉法人島根県社会福祉協議会 地域福祉部長 城代 高志 [90分]
14:30~	閉講式

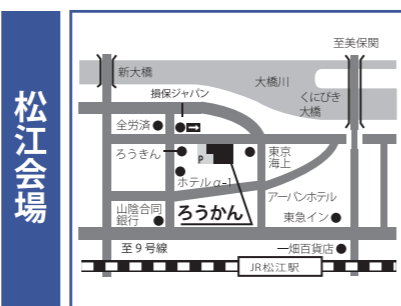
●参加費

1,000円(資料、弁当、お茶代を含みます)

TEL/0852-23-3302
FAX/0852-23-3303

インターネットでのお申し込み

一般社団法人 島根県労働者福祉協議会のホームページのTOPページからお申し込みが可能です。
後日、入場整理券を送付します。
<http://shimane.rofuku.net/>



労福協とは…



労働者福祉協議会の略称。この協議会は労働者福祉活動を総合的に推進し、構成団体間における福祉活動の連絡調整を図るとともに、関係事業団体の育成と強化、並びに労働者福祉全般について啓発、教育、宣伝活動を行い、労働者福祉の推進を図ることを目的に活動する任意団体です。

●島根県労福協ホームページをご覧ください

ホームページアドレス

<http://shimane.rofuku.net/>

検索



発行/一般社団法人 島根県労働者福祉協議会
発行人/安田 充志
〒690-0007 松江市御手船場町 557-7
TEL 0852-23-3302 FAX 0852-23-3303
ホームページアドレス: <http://shimane.rofuku.net/>
Eメール: rofuku@gaea.ocn.ne.jp
発行月(1・3・6・10月発行)

東日本大震災 西部ブロック労福協第3回幹事会視察

復興道半ば、息の長い支援が必要!!

去る9月18日から19日にかけて西部ブロック協議会で震災後1年半を経過した宮城県の復興状況の視察を行いました。

視察にあたって、連合宮城の山田副事務局長には石巻市を、また気仙沼地協の東会長・山本事務局長には気仙沼市をご同行いただき被災状況を詳しく説明いただきました。冒頭、全国の仲間の皆さんから素早い支援をいただき、特に、被災後数日間は食糧もなく暖も取れずの中、缶詰や防寒着・下着などの支援物資はほんとうにありがたかった旨を、各県労福協・連合の仲間の皆さんに伝えていただきたいとお礼を述べられました。

巨大地震と大津波から1年半が経過し、復興状況はどうかと言うことを問われれば、外側から見ただけの私的感想を述べると、大津波被災地域の復興再生は手つかずの様子であり、それに比べ津波に遇わなかった地域は復旧復興が進んでいる様子が見て取れました。復興市場にも立ち寄りしましたが、平日ということもありお客様は疎らで、視察に来られた方ばかりが目立ち、復興の道程はまだまだ永いなあと感じました。

ご案内いただいた方の説明では、いずれにしても暮らしや仕事の再建築など解決しなければならない課題は山積しているとのことであり、また復興は緒に就いたばかりであり、継続的な対応・対策と今後も相当長い期間にわたる支援が必要になるとのことでした。特に、津波被害にあった地域においては「職・



石巻市 津波災害で焼けた小学校

住分離」を基本に高台への防災集団移転計画を策定し住民意向調査を行うなどの復興事業が進められつつありますが、市街地の再整備や、土地の買い上げ価格などを巡って住民の様々な思いがあるのは当然であり、事業が遅れつつあるとのことでした。そうした中であっても、復興まちづくりコンペを行うなど、地権者、地元住民、事業者のみならず、一緒になってまちづくりを検討していらっしゃるとのこと、必ず復興をするという大津波被災地域の皆さんの気概を感じました。

最後の質問で「どのような支援をしたらよいか。」と尋ねたところ、「今いちばんお願いしたいことは、お帰りになったら視察いただいた現状そのままを、出来るだけ多くの皆さんにお伝えいただきたい。」とのこと。それは、国民全体からの息の長い支援が必要ということであると実感せざるを得ませんでした。

矢倉：記



大津波にのまれた南三陸町の防災庁舎



気仙沼市街地に打ち上げられた船



ろうきん友の会（島根県）が 隠岐で研修

8月6日～7日



退職後も労金を利用する方たちを中心に組織されている「中国ろうきん友の会」の島根県研修会が8月6日、7日、隠岐の島町で開催されました。

参加者は隠岐地区からの参加8名を含め24名。西郷港周辺を遊覧船で視察した後、隠岐地区友の会会長小室賢治氏による隠岐の歴史や現状について学び、翌日はそれぞれに島内視察により隠岐の文化を堪能しました。



ピースアクション2012の取り組み（島根県生協連）



☆ピースリレー（平和行進・日本海コース） 鳥取から島根、島根から広島へ“平和への想いを”引き継ぐ

ピースリレー2012の取り組みは、7月15日・鳥取県倉吉市（鳥取医療生協・ディサービス倉吉）にて「鳥取から島根へ」の引継式と倉吉市内の行進が行われ、島根からは、島根大学生協、生協しまねの組合員、役職員の12名が参加、鳥取県生協連の参加者をあわせて約80名の皆さんが参加をされました。

今年、日程の関係で倉吉市での引継式となりました。はじめに、参加団体の紹介が行われ、島根大学生協から学生の皆さん紹介では大きな拍手があり、賑やかな引継式となりました。行進は、沿道の皆さんに平和をアピールしながら約1時間の行進が行われました。行進後は、平和コンサートなどが開催されました。

7月28日・広島県三次市（みよしまちづくりセンター）にて「島根から広島へ」の引継式と三次市内行進が行われ、島根から15名、広島県生協連の参加者をあわせて約90名の皆さんの参加がありました。

はじめに、「つどい」が開催され、生協ひろしま虹

のコーラスによる歌、三次市市長からのメッセージも伝えられました。行進は、約1時間、三次市内を歌などで沿道の皆さんに平和を訴えながらの行進となりました。

【島根大学学生の皆さんから】

○ピースリレーに参加することは、平和や戦争について知ったり、知ってもらっただけでなく、新しい友達ができたり、終わったときの達成感だったり、ピースリレーの本質とは異なることも多く感じる事ができて、そういった意味でも参加してよかったなと思いました。



しまね・さわやか生涯福祉センター

第2回介護員（2級）養成研修講座開催中！！

9月23日～12月23日まで

今後、要支援・要介護者の増加が見込まれる全国第2位の高齢県、島根県にあって、将来の超高齢社会に備え、確かな知識と技術をもった「ホームヘルパー」が数多く求められます。高齢者や障害をもつ方が住み慣れた家庭や地域で安心して暮らせるようにとの願いから昨年度に続き開始しました。

今回の講座は22人の受講生が15人の介護・医療現場で働く先生方から直接ご指導いただくというかなり実践的な内容です。カリキュラムは、講義、実技演習、実習へとステップアップしていきますが、みなさんがこの記事を読まれる頃には、講義カリキュラムの終り頃ではないかと思えます。

来年度から研修制度が変わりますが、可能であれば「さわやか」でも継続開催したいと思います。就労目的だけでなく、ご家族や地域のみなさまのために今後チャレンジしてみませんか？



第1回介護員養成研修講座 修了式

ZENROSAINNEWS

こくみん共済

満0歳から加入できる、
お子様の病気やけがのほか、
賠償にも備える保障。

お子さまの **総合保障**

キッズタイプ キッズワイドタイプ

安心して生きていく。自分も、家族も。

こくみん共済

個人定期生命共済・こども定期生命共済・熟年定期生命共済・傷害共済・個人賠償責任共済・終身生命共済・個人長期生命共済

全労災は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいで組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

保障のことなら **全労済**
全国労働者共済生活協同組合連合会

ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき（契約概要・注意喚起情報）」等を必ずご確認ください。

キャンペーン実施中